

出馬会見 要旨① ≪組織力、経営力向上 編≫

四日市の事を考えた本物の政治を行いたいと志し、政治の世界に飛び込み5年が経とうとしています。この5年間、公認会計士としての経験や知識を活かし、四日市市の諸課題解決に向けて取り組んできました。それと共に本市の未来について大きな危機感を抱く様になりました。

四日市市が20年後30年後も元気で活力のあるまちであり続けられるのか、大きな不安を抱いております。

本市は、「**人口減少問題**」という大きな問題を抱えております。四日市市は、ここ数年、年間数百人のペースで人口減少が進んでいます。国立社会保障・人口問題研究所の推計に基づいたデータによると、今から44年後の2060年には四日市市の人口は22万人となるとされています。人が居なくなれば地域は衰退します。31万人の人口を誇る三重県No.1の都市、四日市市を衰退させてはいけません。

日本全体の人口が減少に転じた今、人口減少を食い止めるという事は、他の自治体から人を奪うという事です。我が国では既に各自治体間での熾烈な人口争奪戦が始まっているのです。その中で、四日市市は本当に生き残れるのでしょうか。自治体間の競争力を高め、選ばれるまちとなった自治体だけが勝ち残っているのです。

では、四日市市はどうやって競争力を高めて行けば良いのでしょうか。私は、低迷した四日市市政を刷新する必要があると考えます。政治が変わらなければ街は変わりません。ダイナミックな政治の変革を行っていかねばいけないのです。四日市市の魅力を最大化し、本市が選ばれる都市になっていかねばならないのです。

私は、四日市市の競争力を高める為に必要なポイントは、民間の考え方を徹底的に取り入れた新しい価値観で攻めの自治体経営を実行していくことだと考えます。行政も毎年高い目標を掲げ、挑戦し、成長し続ける組織を目指していかなばなりません。私は、自治体を経営するという事は、市政が責任を負う全分野を押し上げていくことだと思っています。

キーワードは四日市市の「経営力、組織力の向上」です。組織力を高め、「本気の経営」をするのです。

四日市市の経営を考えていく上で最も考慮に入れなければいけない要素は「**財政力**」です。自治体の「**財政力**」を測る指標として『**財政力指数**』という指標があります。現在、四日市市の『**財政力指数**』は平成26年度が0.991、平成27年度で0.994となっており、**あと19億円程度の税収増加で『財政力指数』が1を超えます。**

『**財政力指数**』が1を超えるという事は、四日市市に新たな財源が生まれ、今まで行ってきた住民サービスに加えて新しい住民サービスを行える資金が生まれるということになります。財政力指数が1を超える事が出来る位置にいる四日市市だからこそ、「**財政力**」という視点が非常に重要になってくるのです。

四日市市の年間の税収は600億円ですから、**全体の3%の税収増加で財政力指数が1を超えてくるのです。**この税収増加に対して徹底的に取り組んでいかねばいけません。

税収増加を考えていく上で必要なポイントは、『**産業振興策**』『**子育て・教育支援**』であります。

(具体的な税収増加策については次号へ)

森ともひろ出馬会見 ノーカット版動画

ぜひ、ご覧ください!⇒



森ともひろ

検索

森 智広 プロフィール

学 歴

平成6年 西陵中学校 卒業
 平成9年 四日市南高校 卒業
 平成13年 立命館大学 理工学部 卒業
 平成23年 早稲田大学大学院公共経営研究科 修了

職 歴

平成15年 中央青山監査法人 入所
 平成18年 あらた監査法人 入所
 平成19年 公認会計士登録
 平成21年 プライスウォーターハウスクーパース株式会社 事業再生/再編グループ 出向
 平成22年 あらた監査法人 退所
 平成23年 四日市市議会議員選挙にて、5,493票の負託を受けてトップ当選〔現役最年少〕
 平成25年 税理士登録
 平成27年 四日市市議会議員選挙にて、5,852票の負託を受けてトップ当選

役 職

平成24年度 総合交通政策調査特別委員会 副委員長
 平成25年度 教育民生常任委員会 副委員長
 平成26年度 朝明広域衛生組合 議長
 平成27年度 産業生活常任委員会 委員長
 ※四日市ラグビーフットボール協会副会長



森 ともひろ後援会連絡先

〒512-1105 四日市市水沢町2452 TEL・FAX:059-329-2193
 E-mail: genki@mori-tomohiro.net